

米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く (189)

江戸時代の通婚範囲

寄贈いただいた長岡村関係古文書から

寄贈いただいた長岡村関係古文書

近年は空き家の整理などが進み、その作業の中で古文書などを見つけれられ、市民の方から古文書の調査や寄贈に関するご相談を受ける機会が増えています。そのような中、今回取り上げる古文書は、今年7月に寄贈を受けた江戸時代の長岡村（現在の長岡地区）に関する古文書です。

古文書は、江戸時代後期の天保10年（1839年）と天保12年（1841年）に作成された「宗門改帳」など9点ありました。「宗門改め」は、江戸幕府の政策として禁止されたキリスト教徒を取り締まると同時に、住民の動向を把握する戸籍調査を目的として行われていました。

この古文書は、東京都に在住の方が取得されたものを、本市に寄贈いただいたものです。市外に流出した古文書を本市に戻していただいたことはこれまでにない事例であり、大変ありがたいお話でした。

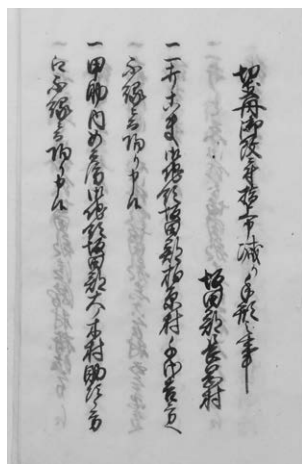
今回は、「宗門改帳」に関係する古文書を使って、長岡村を舞台に江戸時代の人々がどの地域の人と結婚していたのか、その通婚範囲について見ていきたいと思います。

江戸時代後期における長岡村の通婚範囲

今回読む古文書は、天保10年3月に作成され、長岡村内の人口増減について彦根藩に提出した「切支丹御改二付指上申減り手形」と題するものです。

この古文書は、「宗門改帳」の作成の前段階に、長岡村から転出した者について村が調査・報告したものです。

報告内容の一つを読むと「二、嘉内内い、御他領坂田郡志ヶ谷村五兵衛方へ縁付二遣し申候」とあり、長岡村に住む嘉内の家の「いか」という女性が志賀谷村の五兵衛へ嫁いだ、と書かれています。この当時の結婚は、ほとんどがお見合いによるものとされますので、仲介に立つ人がいたとみられます。



切支丹御改二付指上申減り手形



天保10年 長岡村通婚範囲の地図

この古文書に書かれた天保10年3月付けの結婚等の記述をまとめると全部で8件あり、長岡村の人が婚姻を結んだ範囲が分かります。近隣では志賀谷・加勢野・大野木・柏原・清滝・春照、少し離れて下丹生、そして霊仙山の西麓にある善谷の8カ所でした。

これらの村を現在の地図に記入すると左図のようになります。地図上で通婚範囲を見ますと、長岡村の近隣の村落がほとんどですが、やや遠方の村とも婚姻を結ぶことがあったようです。このような婚姻の広がりは、長岡村だけでなく他の村でも想定できますので、お見合いを介して遠方の村とも交流ができていたことがうかがえます。

今回は一度市外へ流出した後に寄贈いただいた古文書を取り上げました。

市は、今後もできる限り市内の資料の散逸、滅失を防ぎたいと思いますので、情報の提供にご協力くださいますよう、よろしく願います。（生涯学習課）

消費生活相談コーナー

送り付け商法にご注意ください

注文した覚えのない商品が家に届いた。受け取ってしまったが、どうしたら良いか？

消費生活相談員より一言

身に覚えのない商品を受け取ってしまった場合でも、一方的に送り付けられたものだとなれば処分できるようになりました。もちろん支払い義務はありません。ただし、プレゼントや誤配送の場合もありますので、まずは確認するようにしましょう。



「おかしいな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)
相談専用 ☎53-5110
(受付) 平日 9時30分～16時

米原警察署情報

米原警察署 ☎52-0110

11月1日～12月1日は犯罪被害者月間です

犯罪被害者やそのご家族が平穏な暮らしに戻るためには、被害者の方々が置かれている状況を理解し、支え合う社会づくりを進めることが重要です。

～被害に遭われた方やそのご家族の相談窓口～

・犯罪被害者サポートテレホン

☎077-521-8341(月～金:10時～16時)

・県民の声110番 ☎9110(月～金:8時半～16時半)

・性犯罪被害相談電話 ☎8103(毎日:24時間対応)



令和8年市内交通事故数(9月末時点)

件数 47件(+7件) 死者 1人(±0人)
傷者 56人(+5人) ※()内は前年比